

京都岡本記念病院

がん相談支援センターだより

ともに

VOL.1
2020.6

がん相談支援センターだより発刊によせて

京都岡本記念病院は2020年3月27日付で、厚生労働大臣より「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受けました。「地域がん診療連携拠点病院」は質の高いがん医療を地域格差が無く全国で等しく実施できるようにするために、地域のがん医療の中核として指定される病院です。専門的ながん医療の提供、地域のがん診療の連携体制の構築、がん患者に対する相談支援及び情報提供などを行っています。

手術、放射線及び化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療、緩和ケア病床の整備、診療ガイドラインに準ずる標準的治療等のがん患者の状態に応じた適切な治療の提供、大学病院との技術交流による難度の高い治療を提供して参ります。地域の医



京都岡本記念病院 院長
高木 敏貴
(たかぎ・としだか)

療機関との連携を強化、地域の医療従事者に対する教育・研修の実施、一般の住民の皆様を対象とした講演会やがん教室の開催などを行っています。

今後も、山城北医療圏にとどまらず京都南部地域のがん診療の拠点としての責任ある役割を担ってまいります。

地域がん診療連携拠点病院とは

がん診療の地域格差を無くし、全ての地域で質の高いがん医療を提供できる体制づくり(がん医療の均てん化)を推進するため、地域のがん医療の中核となる医療機関として指定される病院です。

京都府内では、厚生労働省が指定する「都道府県がん診療連携拠点病院」(2カ所)、「地域が

ん診療連携拠点病院」(8カ所)、「地域がん診療病院」(3カ所)のほか、京都府知事が指定する「京都府がん診療連携病院」(1カ所)、「京都府がん診療推進病院」(7カ所)があり、そのすべてに、がんに関する相談を受ける窓口である「相談支援センター」が設置されています。





地域がん診療連携拠点病院の指定を受けて

がん対策統括責任者 副院長

清水 義博 (しみずよしひろ)

当院では2006年12月にがん対策委員会を立ち上げ、2007年4月のがん対策基本法の施行を受け、山城北の医療圏で質の高いがん医療が受けられるよう均てん化を目指し、がん難民を作ることの無いよう取り組んできました。2008年には京都府地域がん診療連携協力病院に指定され、京都府地域がん診療連携病院、地域がん診療病院(厚生労働省指定)を経て、2020年4月から正式な地域がん診療連携拠点病院の指定を受けました。

この15年余り、がん医療において地域の基幹病院として特に5大がんを中心とした標準治療の提供のために化学療法を整備し、緩和ケアを提供し、がんの在宅看取りや緊急時対応の体制を整え、かかりつけ医との地域連携を進めてきました。今後もその方針には大きな変わりはありません。

同地域には宇治徳洲会病院が拠点病院としてあ

りますので、しっかりと連携を組んで、地域のネットワークを作り、病院・かかりつけ医だけでなく、保健所や医師会、薬局、介護施設と地域完結の循環型医療へ取り組む所存です。そのためには、がん相談支援センターをさらに強化し周知を行います。

がん医療のさらなる充実には、外来機能として、緩和ケア、放射線治療、化学療法、相談支援をパワーアップし、チーム医療をさらに推進致します。

また、がん対策基本法の基本的施策であるがんの予防や早期発見の推進のため、検診率向上にも取り組んでいきます。

最新のがん医療提供にも力を入れる必要があり、ゲノム医療への専門的施設への繋ぎも構築し、がん研究の臨床試験にも取り組む必要があります。AYA世代への対応も必要になってくるでしょう。がん教育、研修会もしっかり地域へ提供し、就労支援を含めて、社会の抱える問題にも取り組みたいと考えています。

以上、これまで取り組んできたこと以上に、地域に対してがん医療に対する責任は大きいことを肝に銘じて更に地域のために頑張っていく所存です。

がん相談支援センターをご存じですか？

がん相談支援センターは、全国のすべてのがん診療連携拠点病院や拠点病院に準ずる病院に設置されている、がんに関する相談窓口です。2006年に「がん対策基本法」が成立した後、当院では2008年から、がん相談支援室として相談対応が実施されています。

「がん相談支援センター」という名称は、2014年1月から全国で統一されました。まだ十分に周知されていないのが現状です。

がん相談支援センターでは、患者さんやご家族、地域の方々からがんに関する相談をお受けしています。専門のスタッフと連携をとりながら、一緒に問題解決のお手伝いをさせていただきます。

相談は無料です。通院の有無に関わらず、どなたでもご相談いただけます。

多くの方にがん相談支援センターを知っていただき、ご利用いただければと思います。



がん対策担当
副院長
宮崎 真二

がん対策統括責任者
副院長
清水 義博

緩和ケア専従医
消化器外科副部長
山本 芳樹

がん相談支援センター
緩和ケア認定看護師
相談窓口
青木 薫 松田 亞紀

がん情報コーナー

がん相談支援センターには、図書情報スペースがあり、病気や治療、療養生活について情報を得るために情報コーナーがあります。患者さんをはじめ、ご家族や地域の方など、どなたでもご利用いただけます。各種がんに関するパンフレットや閲覧用図書をご用意しております。



がん患者サロン やまぶきの会

患者さんご家族の支え合いの場としてがん患者サロン「やまぶきの会」を開催しています。

- 日時／毎月第1・第3金曜日 午前10時～午後3時
- 場所／1階 がん相談支援センター隣



臨床僧による傾聴ボランティア 緑蔭

がんなどの病気に苦しむ患者さん、そのご家族の方、静かな環境で誰に話したらいいか分らない悩みや、心に積もっている心配ごとをお話ください。静かで落ち着いた環境の中で、僧侶がじっくりお話を聞きます。

- 日時／毎週木曜日 午後2時～午後5時
- 場所／京都岡本記念病院 7東病棟 談話室

※「やまぶきの会」「緑蔭」は新型コロナウイルスの感染拡大状況をうけ、しばらくお休みとさせていただいています。再開の目途が立ちましたら、あらためてお知らせいたします。

京都岡本記念病院 がん相談支援センターだより「ともに」

このたび、皆さんへの情報提供や私たちの活動報告などをお伝えする「がん相談支援センターだより」を発刊するにあたって、より親しみを持っていただけるようなタイトルをスタッフと話し合いました。

いくつか挙がったなかで、患者さんに寄り添い、一緒に考え、一緒に頑張っていきたいという私たちの思いにピッタリな「ともに」をタイトルとしました。

いろいろなかたちで患者さんをはじめ、地域の皆さんと「ともに」活動をしていければと思います。よろしくお願いいたします。

次号は、緩和ケアチームの活動をご紹介します



社会医療法人 岡本病院(財団)

京都岡本記念病院 がん相談支援センター

〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山西ノ口100番地

TEL 0774-48-5500(代表) FAX 0774-46-7835(地域医療連携室内)

[受付時間] 月曜日～土曜日 午前9時～午後5時

[E-mail] ganrenkei-2@okamoto-hp.or.jp